

受領No. 1610

脱人間中心主義に向けたノンヒューマン・デザインの批判的考察と実践的展開

代表研究者 増田 展大（九州大学大学院芸術工学研究院 講師）

Critical Practices of Nonhuman Design for the Post-anthropocentrism

Representative Nobuhiro Masuda (Lecturer, Faculty of Design, Kyushu University)



研究概要

本研究の目的は、昨今のデザインの領域で指摘される人間中心主義批判の立場から、動植物やテクノロジーとの関係を取り込んだ「ノンヒューマン・デザイン」の有効性を明らかにすることである。

デザインは従来、技術工学的なアプローチを中心に、より良い未来に向けた問題解決として展開してきた歴史を持つ。だが、そうした理解は近年の環境問題や気候変動の問題によって岐路に立たされている。実際に科学技術論や人類学の動向とも連動した批判的なアプローチが世界各地で登場しており、そこに共通するのが、人間以外の生物やテクノロジーとの関係性を重視しようとする態度である。

本研究もこうした動向を踏まえつつ、それを実践的に展開する糸口としてバイオアート／デザインの実例についての批判的考察を進める。具体的には、人間以外の動植物や食の問題をテクノロジーと関連づける試みについての分析と考察を進め、それらを「ノンヒューマン・デザイン」として体系化することにより、これからのデザイン実践にとって有効な人文科学と技術工学の連動の可能性を探りたい。